

faculty of medicine Tottori University

鳥取大学医学部



山陰の地で学ぶ先進医療

医学部理念

鳥取大学医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成する。

医学部の教育目標

鳥取大学医学部は山陰地方の歴史と伝統ある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行う。そして、限りない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指す。

医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成する。

生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成する。

保健学科では、看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を、検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成する。



医学部長 メッセージ

鳥

取大学医学部では『生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成する』ことを理念として掲げ、それを実現するため『限りない人間愛や高い倫理観の涵養』、『最先端の医学、生命科学、看護学、検査技術科学の創造』、『地域社会発展への貢献』、『国際的な活躍』などを目標として教育を行っています。

特に、医療人のみならず最近の学生に必要な不可欠なコミュニケーション能力の養成、倫理観の涵養、少人数による問題解決型教育などに力を入れて、良き医療人、良き専門的職業人の前に、良き教養人になれるように努めています。

さらに、能動的学習(アクティブラーニング)を積極的に導入するため、常にカリキュラムの改善に努めています。

また、実技(技術)の備わっていない医療人は、実際の臨床では困惑することが多々あることより、卒前卒後いつでも(学外者も)利用できるシミュレーションセンターを充実させるとともに、附属病院の卒後臨床研修センター、医療スタッフ研修センター、地域医療支援センターと連携して卒前卒後のシームレスな教育を実現しています。



医学部長 廣岡 保明

鳥取県は高齢化が顕著に進んでおり、20~30年後の日本の現状を先取りしていると言っても過言ではありません。中山間地の自治体病院に設置したサテライトセンターでの医学生、看護学生との協働実習や、在宅マインドを醸成するため住民の自宅に泊まりこんで地域の課題を把握するなど、将来の日本の地域医療に関しての先進的な取り組みを模索しています。

グローバルな視点を育成することも重要課題であります。本医学部では諸外国の医学部、医科大学(米国1校、ロシア3校、フィリピン1校、モンゴル1校、インドネシア2校、韓国2校、中国3校、ネパール3校)と交流協定を締結し、活発な国際交流を行っています。学生や教職員が海外に研修・研究・教育に行くとともに、海外からの学生や教員を受け入れることで、大きな視野を持った医療人や研究者の育成に役立っています。さらに、医学教育の国際化にも対応できるように、平成30年には医学教育分野別認証を受審予定です。

大学の使命の1つとして研究があげられますが、最近の学生は、すぐに結果のでない基礎研究を敬遠する傾向が見受けられます。そのため、各学科いずれも学部学生時代に研究室に入って研究マインドの醸成を行うとともに、大学院教育の充実にも努めています。一般コースの他に、腫瘍専門医コース、障がい児医療学コース、革新的未来医療創造コース、がん看護専門看護師コースなどを設置し、より幅の広い視野を備えた人材を育成しています。

本医学部には医学科、生命科学科、保健学科があり、それぞれに特徴的な教育、先進的な研究を行っています。それらの教育力や研究力を融合してさらに発展させるため、学科の枠を超えた教育、研究体制を構築することは喫緊の課題と言えるでしょう。そのような課題を成し遂げるには3学科の連携が最も重要であり、将来の医学部の発展を見据えた改革の推進が必要と考えています。

鳥取大学医学部ではこれまでも、そしてこれからも地域に根ざし、常に最先端の教育・研究に邁進し、国際的視野に立った教養溢れる医療人や専門的職業人の育成に努めます。そして、将来のビジョンを構築して医学、生命科学、保健学の発展・向上に貢献すべく努力いたします。未来に向かってわれわれと一緒に羽ばたく意欲のある学生諸君の入学を心待ちにしています。

Contents

医学部理念	2
医学部の教育目標	2
医学部長メッセージ	3
医学科	
医学科長あいさつ	4
基本方針	4
学科の教育・研究	6
医師国家試験合格状況	7
卒業後の進路	7
学科の特色	8
在学生の声	9

生命科学科	
生命科学科長あいさつ	10
基本方針	10
学科の特色	11
学科の教育・研究	12
在学生の声・卒業生の声	14
卒業生・修了者の進路	15

保健学科	
保健学科長あいさつ	16
ミッション・カリキュラム	16
学科の教育・研究	18
看護学専攻	20
検査技術科学専攻	22

キャンパスカレンダー	24
学生生活	25
附属病院	26
入試情報	27
アクセス	



医学科

医学科長あいさつ



医学科長 景山 誠二

医学科は、世界レベルの標準医療の担い手を育てる医師養成機関であり、また、医療上の課題克服に努力する研究医を育てる機関でもあります。さらには、公務員・教育者など、様々な医療現場を舞台にして、現在・未来の医療を支える人材を育成しています。

鳥取大学医学部医学科への入学を契機に、軸足を鳥取県域に置き、国内外の各地と結びましょう。まずは、医学部附属病院を含む鳥取県域医療ネットワークの中で、この地に相応しい魅力的で世界に誇れる医療モデルを作ること喜びを感じて下さい。私達には、コンパクトで素晴らしいモデル社会が身近にあります。このことを強く意識していただきたいと思います。

そして、鳥取県域で十分に試行錯誤を重ねた後、その成果を必要とする世界の諸地域に波及させて下さい。日本には、分担して世界の多くの地域に貢献できる大きな力があります。その一員として、私達が貢献し得る世界のいくつかの地域と手を繋ぎましょう。

医療上の様々な課題解決への取り組みに、意欲ある皆様の参加を歓迎致します。多くの有能な若い力が輩出し、魅力あふれる多くのプロジェクトが花咲くことを祈念しています。

基本方針

▶ Diploma Policy

【卒業認定・学位授与の方針】

鳥取大学医学部医学科では、以下の能力や特性を身につけたときに学士（医学）の学位を授与します。

1. 医師に求められる基本的な知識、技能、態度を修得し、それを生涯にわたって維持向上させる姿勢
2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会に対する自身の役割を認識し、患者中心の立場に立った医療を実践する能力
3. 論理的思考力、高度な判断力、コミュニケーション能力を身につけ、他者と協力・共同して医療・研究を行う能力
4. 常に知的探究心と創造性を持ち、最新の医学的知識を身につけ、国際的な視点で物事を考える能力
5. 地域や地域で暮らす人を愛する心を持ち、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献する能力



▶ Curriculum Policy

【教育課程編成・実施の方針】

鳥取大学医学部医学科では、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育プログラムを導入し、到達目標を明確にし、卒業時までには医師あるいは研究医になるために必要な知識、技能、態度を身につけられるようなカリキュラムを組むことを基本的な方針としています。
2. 人間力を高め、幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
3. 学問に対する興味を深め、学問・研究が社会に貢献している実状を理解させる教育を実践します。
4. 創造力豊かな医療人を育成するためイノベーション教育を実施します。
5. 生命倫理、利益相反、危機管理、環境問題等の社会的に関心の高い学問領域を重視した教育を実施します。
6. 人体および人体標本に対する礼意や倫理に関する教育、守秘義務に関する教育を実施します。
7. 情報社会において安全かつ有効にネットワークを活用できるようにするため情報リテラシー教育を実施します。
8. コミュニケーションの大切さを実感させる教育を実施します。手話をコミュニケーション方法として取り入れるために手話教育に力を入れます。
9. 研究体験、先端医学講義、及び英語論文抄読などにより、リサーチマインドを涵養します。
10. 診療英会話などの実践的英語能力の向上を目指します。海外の学術交流協定校との間で臨床実習体験などの交流を行います。
11. 全人的医療人育成のため、低学年から早期医療体験を通じて、医療従事者としての動機付けを行い、臨床講義終了後に地域医療体験で地域に密着した医療を学ぶとともに地域の保健、福祉、介護の実践と多職種連携の重要性を理解する教育を実施します。
12. グローバルスタンダードを視野に入れた診療参加型臨床実習を実施します。

▶ Admission Policy

【入学者の受入れ方針】

医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成します。

1. 医学に関心があり、目標に向かって継続的に努力できる人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人
3. 問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人
4. 思いやり、責任感及び協調性のある健全な考え方もつ人
5. 医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人
6. 地域・国際医療に関心を持ち、貢献したいと考えている人



学科の教育・研究

- 6年間で学ぶ『医学』を構成する講座及び分野 -

解剖学講座

生理学講座

病理学講座

感染制御学講座

社会医学講座

- ◇統合生理学分野
- ◇適応生理学分野

- ◇器官病理学分野
- ◇分子病理学分野
- ◇脳病態医科学分野

- ◇細菌学分野
- ◇ウイルス学分野
- ◇医動物学分野

- ◇環境予防医学分野
- ◇健康政策医学分野
- ◇法医学分野
- ◇医学教育学分野
- ◇病態運動学分野

病態解析医学講座

統合内科医学講座

器官制御外科学講座

感覚運動医学講座

- ◇統合分子医化学分野
- ◇薬理学・薬物療法学分野
- ◇画像診断治療学分野
- ◇臨床検査医学分野

- ◇病態情報内科学分野
- ◇機能病態内科学分野
- ◇分子制御内科学分野
- ◇周産期・小児医学分野

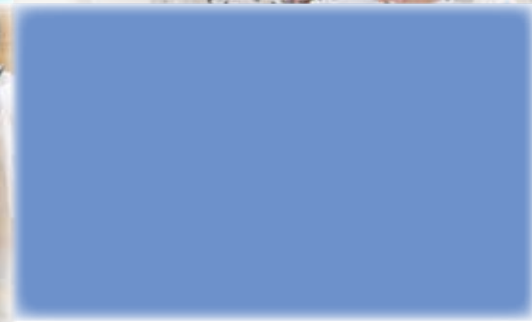
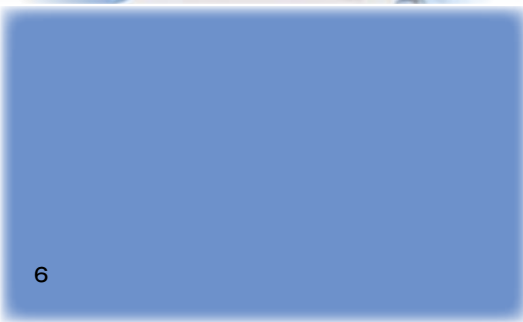
- ◇病態制御外科学分野
- ◇器官再生外科学分野
- ◇胸部外科学分野
- ◇腎泌尿器学分野
- ◇生殖機能医学分野
- ◇麻酔・集中治療医学分野
- ◇救急・災害医学分野

- ◇運動器医学分野
- ◇皮膚病態学分野
- ◇視覚病態学分野
- ◇耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
- ◇口腔顎顔面病態外科学分野

脳神経医科学講座

地域医療学講座

- ◇脳神経内科学分野
- ◇脳神経外科学分野
- ◇脳神経小児科学分野
- ◇精神行動医学分野

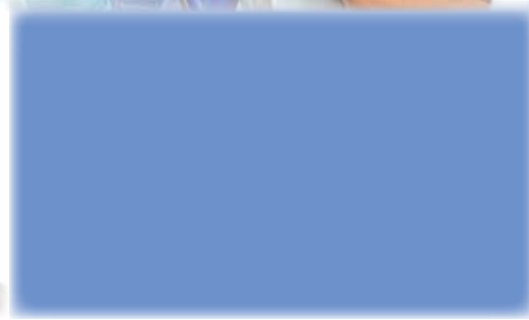
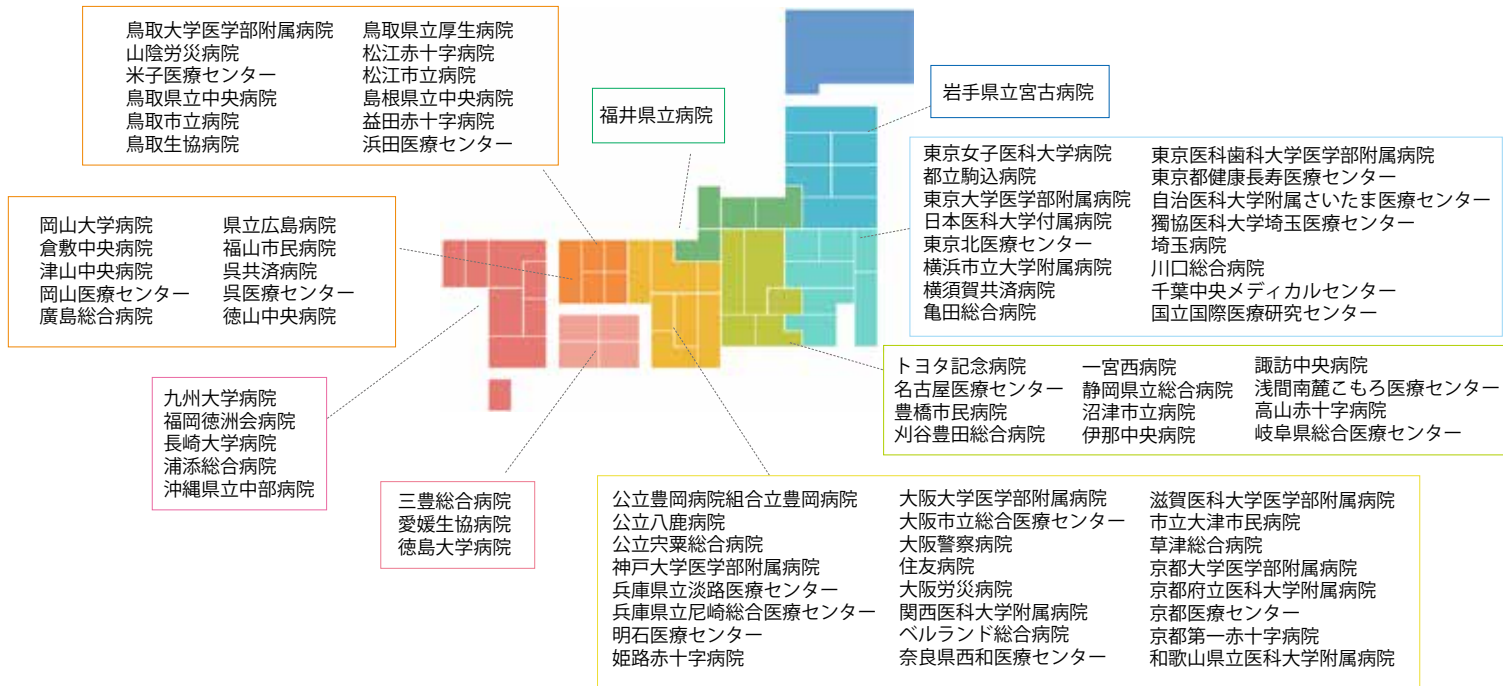


医師国家試験合格状況

合格率	年	2018年	2017年	2016年	2015年
本学新卒		97.0%	96.5%	91.5%	100.0%
全国平均		90.1%	88.7%	91.5%	91.2%
平均差		+6.9%	+7.8%	0.0%	+8.8%

卒業後の進路

— 主な卒業後臨床研修先：平成27～29年度 —



学科の特色

1

特徴

モデル・コア・カリキュラムをいち早く導入し、10年以上にわたって、より良い履修形態に修正してきました。これは、全国統一の精選された基本的内容を重点的に履修するもので、全体の3分の2程度の時間数が費やされます。残りの3分の1は、独自の理念に基づく教育で、手話教育など、学生が自主的に選択できる多彩なメニューが用意されています。4年次の終わりにはCBTとOSCEという全国共用試験が控えています。一定レベルに達していると判断されると、5年次から臨床実習が始まります。大学病院で行う臨床実習は、学生も医療スタッフの一員として加わる参加型実習制度を取り入れています。今後は、より長期間の臨床実習を計画しています。

医学教育に対する社会のニーズは多様化し、創造性豊かな人材の輩出が求められています。従来の知識詰め込み型の教育方法から、自ら課題を探究し、能動的に取り組む学生主体の学習への転換を図っており、小グループに分かれて課題解決を行うチュートリアル教育や、一定期間希望の研究室で自主的な研究に取り組む機会なども設けられています。医師免許取得後、医学科卒業生は、医療、教育・研究、行政面の多彩な課題に対応すべく、山陰・日本国内・海外のさまざまな地域で活躍しています。

2

海外研修

鳥取大学では、夏季休業を利用してカナダの大学等で短期研修を行う制度があり、将来視野の広い医師を育成するため、医学部同窓会も積極的に支援しています。

また、海外交流協定締結校との関係や、教員の海外共同研究の機会を利用した研修などがこれまで行われてきました。

2008（平成20）年にはアメリカのバーモント大学医学部と学術交流協定を締結しました。その結果、医学科4、5年次学生が毎年バーモント大学で開催される夏期および春期臨床研修プログラムに参加しているほか、バーモント大学からも数名の学生や教員が鳥取大学での研修に参加し交流を行っています。また、韓国の延世大学の学生の研修については、受け入れが継続していることから、2009（平成21）年には部局間の交流協定に発展しています。さらに、2013年からフィリピン共和国の保健省関連病院（国立サンラサロ病院）で、2016年からロシアの極東連邦大学で6年次学生の臨床研修を開始しています。2017年からは、おもに3-6年次学生から希望者を募り、イギリスのケンブリッジ大学の家庭医療部門研修も実施しています。



▶ Curriculum

1年

行動科学	免疫生物学
基礎医学体験	遺伝生化学
最新診断・治療学	発生医学
医学史	細胞組織学
実験動物学	細胞生理学
医用統計学	細胞生化学
基礎地域医療学	基礎運動器学

2年

基礎薬理学	解剖学実習
基礎消化器学	基礎感染症学・実習
基礎循環器学	基礎医学実習
基礎呼吸器学	病理学総論
基礎泌尿器・生殖器学	社会環境医学
基礎感覚器学	基礎医学特論
基礎神経学	画像診断入門
基礎内分泌・代謝・血液学	

3年

医科栄養学	臨床消化器学
病理学各論	臨床循環器学
疫学と予防医学	臨床呼吸器学
研究室配属	臨床運動器学
メディカルコミュニケーション	臨床神経学
臨床遺伝学	眼科学
総合診療-症候学-	臨床泌尿器学
臨床内分泌・代謝学	臨床生殖器学
診断学	臨床血液学
放射線診断学	神経精神医学
治療学	

※専門科目の他、1～3年次で全学共通科目を学びます。

在学生の声

皆さん、今どのような大学生活を思い描いているのでしょうか？
 思いっきり部活したい、たくさん友達を作りたい、色々なバイトを試してみたい、海外に行ってみたい、
 そして、将来のための勉強をしたいなどいろいろあるでしょうが…
 鳥取大学ではそのすべてを叶えることができます。大学では中学や高校と違って自分の生活を決定するのはすべて自分です。だからこそ責任があるし、だからこそやりたいことを実現できるのです。そして、大学では自分の興味のあることをもっと学びたい、知りたいと思えば、それを助けてくれる環境と先生や先輩をはじめとする人の支えがあります。

私は鳥取で生まれ育ち、鳥取の医療に貢献したいと思い、鳥取大学に入学しました。鳥取大学では、同じ志を持つ人たちと出会うことができましたし、地域医療や総合診療について学ぶ機会もたくさん用意されていました。昨年には総合診療まつりやイギリス研修に参加して国内外の総合診療について学びました。鳥取大学に入るという自分の選択は間違っていなかったと今でも確信しています。

皆さんも強い意志を持って、誰になんと行われようと行動し、自分の理想の大学生活をぜひ手に入れてください。



医学科 4年生
 奥谷 はるかさん
 (鳥取県出身)

私の週間スケジュール					
	月	火	水	木	金
1時限		臨床感覚器学	神経精神医学	臨床成長・発達学	臨床成長・発達学
2時限	選択科目	臨床感染症学	臨床感覚器学	神経精神医学	神経精神医学
3時限	社会医学 チュートリアル・実習	臨床泌尿器学	臨床成長・発達学	臨床成長・発達学	臨床感染症学
4時限		臨床神経学	臨床運動器学	臨床運動器学	臨床運動器学
5時限	時々補講				
放課後		アルバイト		アルバイト	アルバイト

4年		5年	6年
法医学	救急医学	臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ
社会医学チュートリアル・実習	老年医学		
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	医療情報学		
皮膚科学	地域医療体験		
産科学	PBL チュートリアル		
臨床成長・発達学	臨床地域医療学		
臨床感染症学	臨床医学特論		
臨床腫瘍学	臨床実習入門		
免疫・アレルギー	臨床実習Ⅰ		
麻酔科学			



生命科学科

生命科学科長あいさつ



生命科学科長 初沢 清隆

本学科は「生命科学」という名を冠する本邦初の学科として、1990年、医学部に創設されました。以来、生命科学や医学分野において世界的に傑出した研究成果を発信しています。

本学科の目的は、生命現象の基本的な真理の探究や疾患の原因を解明する研究者、またはそこから導かれる最先端の医療法を開発する研究者の育成にあります。

「生命科学の重大な謎を解きたい!」「難病の治療に貢献したい!」このような強い意欲を持つ若者が本学科に集い、サイエンスを楽しみお互いを高め合うことを願っています。

私たちはそのために一人ひとりを全力でサポートします。

基本方針

▶ Diploma Policy

【卒業認定・学位授与の方針】

鳥取大学医学部生命科学科は、学生が本学科における学修と経験を通じて、以下の生命科学や基礎医学の研究者および生命科学関連の専門的職業人に求められる基本的能力や特性を身につけたときに学士（生命科学）の学位を授与します。

1. 自然科学をはじめ一般的な教養に関する幅広い知識と、生命科学および基礎医学に関する深い知識の習得と理解、これら知識の獲得のための方法と技能
2. 生命科学研究の遂行に必要な基本技術とその原理の理解、解決すべき問題を自ら設定できる問題探索力、問題を適切な方法により解決に導く問題解決力
3. 国際的な広い視野を備えた柔軟かつ論理的な思考力、独創的な発想力
4. 生命科学における真理の探求や新しい技術の開発の重要性に対する深い理解、従来の常識や先入観に左右されない態度、他者と共同して研究を進めることができる協調性
5. 生命科学を学んだものとしての高い倫理観と責任感

▶ Curriculum Policy

【教育課程編成・実施の方針】

鳥取大学医学部生命科学科は、卒業認定・学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次に掲げる方針のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 全学共通科目では、自然科学をはじめ一般的な教養を学ぶとともに、医学・生命科学を支える基礎的な知識および技術の習得を図ります。
2. 専門科目では幅広い医学知識、専門性の高い生命科学知識、生命科学研究に必要な基礎技術の習得および生命倫理の理解を図ります。また、論理的思考力、独創的な発想力、的確な表現力およびコミュニケーション能力を育成します。同時に、真理の探求や新しい技術の重要性に対する理解を促します。
3. 最終年次における「生命科学特別研究」により、上記の力を向上させるとともに問題探索力、問題解決力の育成を図ります。
4. 上記を通じ、生命科学や基礎医学を探究する研究者の育成、および生命科学の知識と技術を活かし、生命科学と臨床医学や産業界との橋渡しができる専門的職業人の育成をめざします。

▶ Admission Policy

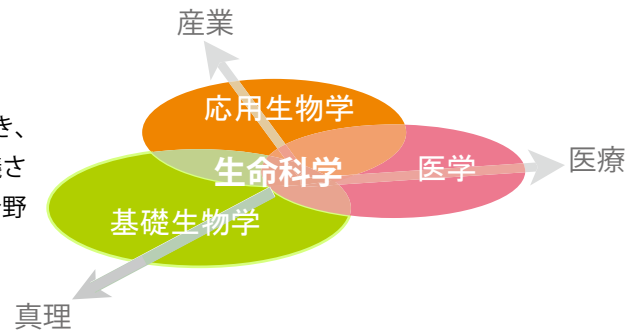
【入学者の受入れ方針】

生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成します。

1. 現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学び、向上・発展させる研究活動に興味をもてる人
2. 真理探究の意欲に燃え、創造的目標の達成にチャレンジし、勉学・自己研鑽に努力をおしまない人
3. 協調性を備え、生命科学を通して国際的な広い視野と仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

学科の特色

「生命科学」とは、生き物が生きていく過程で起こる様々な事柄を、分子の動き、遺伝子の働き、細胞のふるまいなどから調べて、「いのち」の現象、その不思議さを科学的な視点で解き明かす学問です。その成果を医学、農学、工学、環境分野などに応用し、社会に貢献する学問でもあります。



1 医学部にある生命科学科

本学科は、医学とその関連領域をつなぐ生命科学研究者の育成をめざして、平成2年に全国にさきがけて設置されました。医師を養成する学科ではなく、生命現象の解明と、新しい時代の医療への貢献を両軸とする、4年制の学科です。

医学部にある学科の特色として、細胞や遺伝子などの生物学の知識に加えて医学関連の知識を学び、生命科学への理解をより深いものにしていきます。また、遺伝子操作技術や細胞解析などのバイオサイエンス技術を修得できます。さらに難病の疾患モデル動物の作成やiPS細胞を用いた再生医療など、最先端の生命科学研究への道が開かれています。

生命科学科 2講座 7分野

分子細胞生物学講座

- 分子生物学分野
- 細胞工学分野
- 免疫学分野
- ゲノム医工学分野

生体情報機能学講座

- 生体情報学分野
- 病態生化学分野
- 神経生物学分野

2 充実した教育・研究環境

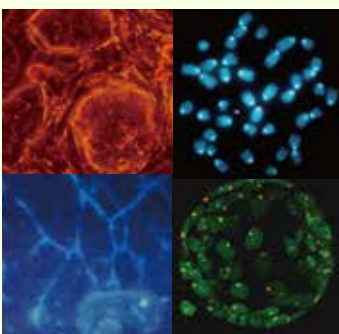
本学科は、医学科（基礎系・臨床系）および保健学科の講座、また研究推進機構との連携による充実した教育研究環境を持っています。隣接する染色体工学研究センターやとっとりバイオフロンティアでは、染色体工学を用いた先端的な研究や産学連携研究が行われています。本学科学生はこのような環境で教育を受け、また、研究を行うことができます。

生命科学科と連携する研究組織

- 研究推進機構
- 染色体工学研究センター
- とっとりバイオフロンティア



3 充実した大学院 - さらに専門的な知識を -



本学科から進学できる大学院として、本学医学系研究科の「生命科学専攻」、「機能再生医科学専攻」〔博士前期課程（修士2年間）、博士後期課程（博士3年間）〕が設置されています。また、研究内容によって、同じ医学系研究科の「臨床心理学専攻」、「保健学専攻」への進学も可能です。本学科の卒業生の多くが、専門的な知識を学ぶべく、大学院に進学しています。

学科の教育・研究

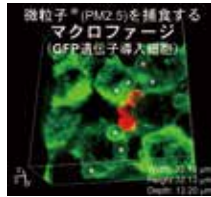
分子生物学分野 教授
初沢 清隆

細胞の世界を覗けば、
生命の原理が見えてくる

私たちは、時としてさまざまな疾病に罹り悩まされますが、その多くが未だ原因究明に至っていないのが現状です。私たちは細胞から個体レベルでの基礎的な生体機能（生体防御、遺伝子の調節制御など）を解明することが、一見遠回りようですが個々の病因を明らかにする上でとても重要なことと考え研究を進めています。

具体的には、①マクロファージのように病原微生物と闘う食細胞に備わっている特殊な機能はどのように発揮されるのか？②DNAのメチル化などゲノム構造がどのように調節され遺伝子の働きに関わっているのか？など、これらの解明をテーマに掲げ、分子イメージング技術や遺伝子工学技術などを利用し、分子の細胞内ダイナミクスの可視化システムや遺伝子導入細胞を作製しています。

謙虚な気持ちで細胞の世界を覗き、そこから語りかけてくる美しい生命の原理の一つひとつを丁寧に拾い上げることで得られる成果が、疾病の原因解明や治療へと還元されるよう日々取り組んでいます。



細胞工学分野 教授
久郷 裕之

つなげたい、
病気の解明から
治療に向けて！

細胞工学分野では、遺伝子・染色体導入や細胞融合（世界最先端の細胞操作技術および染色体工学技術）によって自然界にない細胞を作り出し、病気の解明から治療への応用を目指しています。

- ①新しいがん抑制遺伝子の働きを解き明かし、発がんメカニズムの理解と診断・治療への応用
- ②細胞の老化が何故起こるのか？不死化能を獲得する発がん機構の解明からその謎に迫る
- ③私たちの研究室で開発された染色体ベクターを利用して、iPS細胞（人工多能性幹細胞）から遺伝子再生医療
- ④人と同じような薬の反応を示すマウスやラットを作製し、薬物の代謝・安全性・毒性の評価システム開発

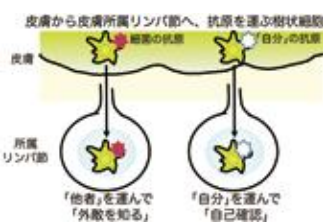
このように私たちの研究室では、基礎生物・再生医療・創薬・食品研究部門などの様々な幅広い分野にまたがり研究に取り組んでいます。あなたも一緒に挑戦してみませんか？



免疫学分野 教授
林 眞一

「自分」を見つめる
免疫細胞の不思議

免疫は、細菌やウイルスなど、病気を引き起こす病原体の感染に対抗するための体の仕組みです。好中球やリンパ球などの免疫を担当する血液細胞は、病原体を攻撃し処理します。このとき、病原体だけが攻撃され、自分の体は攻撃されません。免疫機構は、私達の細胞が持つ「これが自分！」という目印となる物質で「自分」を、逆に病原体だけが持つ物質を目印に「他者」を認識し見分けるシステムを利用しています。しかしこの「自分」と「他者」の見分けは絶対的ではなく、時に簡単に崩れることがあります。これが自己免疫疾患のような、自分で自分を攻撃する病気につながると考えられています。私たちの研究室では、ある細胞が自分の体の成分をリンパ節という臓器に運び続けて、常に自分を確かめているのではないかとことに気付きました。免疫という「自分」とは、絶え間ない努力でやっと維持できるものなのかも知れません。そういう自然の不思議に心惹かれて、研究しています。



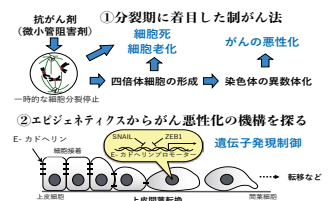
ゲノム医工学分野 准教授
井上 敏昭

知りたい、
作りたい、
活かしたい、
染色体

— 染色体上に埋め込まれている生命のメッセージを聞き取る —

がん化の過程では、正常細胞が自律的増殖能、さらには転移・浸潤能を獲得します。抗がん剤耐性獲得も実際のがん治療においては大きな課題となります。私たちは、がんをはじめ様々な疾患は生命からのメッセージと捉えます。とくに生命の歴史が刻まれた染色体は、単に遺伝子の乗り物ではなく、重要な情報を持つと考えます。

- ①染色体分配から探る制がん法の開発（がん細胞が抗がん剤に耐性をもつ新たなメカニズムの解析）、②染色体上の機能変化（特にエピジェネティクス）からがん転移の機構を探る、ことで染色体に耳を傾け、そのメッセージを聞き取り、将来的に治療にも活かすのが目標です。

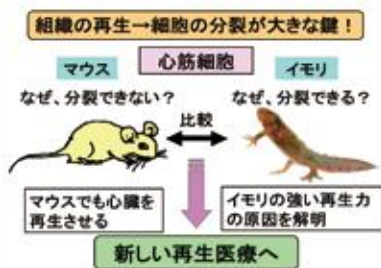


生体情報学分野 教授
竹内 隆

再生できる、
できないは
何が決める？

私たちヒトは、多くの組織を再生できません。ところが、両生類のイモリは足や尾、さらには心臓までも再生します。一体、何が違うのでしょうか？その大きな鍵の一つは、細胞が分裂できるか、どうかにあります。たとえば、ヒトの心筋細胞は生後に分裂しなくなり、たとえ傷害を受けても、もう、増えることはありません。ところが、イモリの心筋細胞は、傷害を受けると再び分裂します。その結果、心臓は再生されます。分裂ができる、できないの違いは何によるのでしょうか？私たちは、マウスとイモリの両方を研究することで、この謎解きに挑戦しています。

この謎が解ければ、私たちヒトでも多くの組織を大規模に（たとえば腕を丸ごと？）再生できる日が来るかもしれません。そんな壮大な夢を抱きながら、私たちは日夜、研究に取り組んでいます。



病態生化学分野 教授
岡田 太

がんを知る、
がんを防ぐ

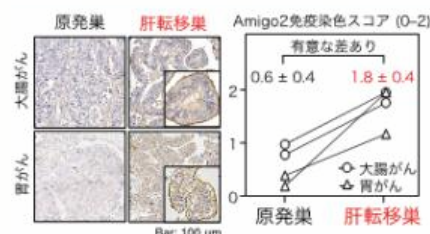
がんは、日本人の一生のうちで2人に1人が患い、その半数が治療で治ります。しかし、3人に1人はがんで命を落としています。また、その10人のうち9人は転移で不幸の転帰を辿っています。がんは治る病気になってきましたが、未だに人類の最期に伴う疾患です。

私たちの研究室では、がんや転移がなぜ起きるのかの原因論を探索する研究を行っています。これらの原因を明らかにすることで予防や治療の方法論を開発して、臨床への応用を目指しています。

進行中の研究課題は、①肝転移のドライバー遺伝子Amigo2による転移予測と予防法の開発。②核酸医薬による転移予防。③腫瘍内血管新生阻害による新規がん退縮法の開発。④炎症による発がんの化学予防。⑤発がんに占める活性イオウ分子種の意義などです。

あなたも鳥取大学医学部生命科学科でしか行うことのできない“がん研究”と一緒に始めてみませんか。

ヒトの大腸がんや胃がんの
肝転移組織に発現するAmigo2

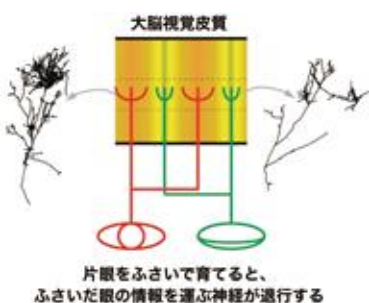


神経生物学分野 教授
畠 義郎

使って育つ
脳のしくみ

古来、数多くの哲学者、心理学者、脳科学者が「私とは何か？」「世界はどう認識されるのか？」など心の謎に取り組んできましたが、まだまだわからないことは山ほどあります。もののしくみがわからないとき有効な手段の一つが、その成り立ちを調べることです。子供の脳はどうやって育つのか？実は、脳は時間がたてば育つというものではありません。使ってはじめて育つのです。ものを見る脳が育つには、きちんと「見る」経験が必要です。

幼児期に眼をふさぐと、その眼の情報を運ぶ神経は発達できません。他の感覚も同じです。経験が、どのようにして、脳の発達を制御するのか？そのしくみがわかれば、心の育ち方や、それにまつわる様々な問題の解決法もわかるに違いない。そう思って日々研究を続けています。



最近の卒業論文テーマ

- 肥満細胞の体内分布と皮膚における分化過程の解析
- ドラッグリポジショニングによる抗炎症作用を有する薬剤探索
- メラノマにおける p53 非依存的な新規がん抑制機構の解明
- 非標準的オートファジー (LAP) の可視化と制御因子 MORN2の発現調節の解明
- ゲノム編集を用いた次世代神経細胞標識法の開発
- 人工染色体を用いた医薬品腸管吸収予測モデル細胞の開発
- イモリとマウスの心臓再生能力の違いを生み出す要因は何か？
- 幼少期ストレスがラットの前頭前野の構造に及ぼす影響
- 骨分化をモニターするレポーター細胞の作製
- 早産誘導時の胎盤における免疫細胞の動態

在学生の声

私が本学科を意識し始めたのは、高校2年生の時でした。高校1年までの自分は、医者になって臨床研究に携わるしか手段がないと思っていました。医者になりたい訳ではないのに…というのが本音で、学力もなかなか上がりませんでした。そんな時、父が鳥取大学医学部生命科学科を提案してくれました。「これだ!」と私は思いました。調べれば調べるほど、この学科の魅力に惹かれていきました。その頃から、いつか私の研究が多くの人を助ける日を夢んでいます。

鳥取大学での生活は、1年が過ぎるのが一瞬に感じるくらい充実しています。1年生では鳥取キャンパスで他学部と合同だからこその多くの経験があります。2年生からは米子キャンパスに移動し、本格的に研究の基礎知識をつけていきます。医学科との合同授業では、臨床向けの医学的な知識も学びます。3年生からは、学生実習が始まり、研究の基礎を日々学んでいます。



生命科学科3年生
西 琴音さん
(大阪府出身)

生命科学科3年生
飛知和 弦輝さん
(群馬県出身)

私からは、高校生の皆さんに向けて生命科学科の紹介をしたいと思います。本学科は既存の生物学科や医学科と異なり、医学の基礎知識を持ったバイオサイエンティストを養成する学科です。基礎科学と医学の教育が同時に行われ、臨床と基礎研究の橋渡し役となれることが最大の魅力だと思います。卒業・大学院修了後は、多くの先輩方が国内外での大学、研究機関、製薬企業、医療・教育出版、医療機関等の場所でご活躍されているように、多様な選択肢があります。

私は大学で学んだ知識や技術を社会に還元するためにベンチャー企業の創設を目標に勉強しています。そのためには、学問のみならず、人間力が必要だと考えています。本学科は、研究環境も良く、先生とのつながりも強く、それぞれの思う進路に力強いサポートをしてくれます。熱いパッションを持つ後輩と楽しい学生生活を送りたいです。

卒業生の声

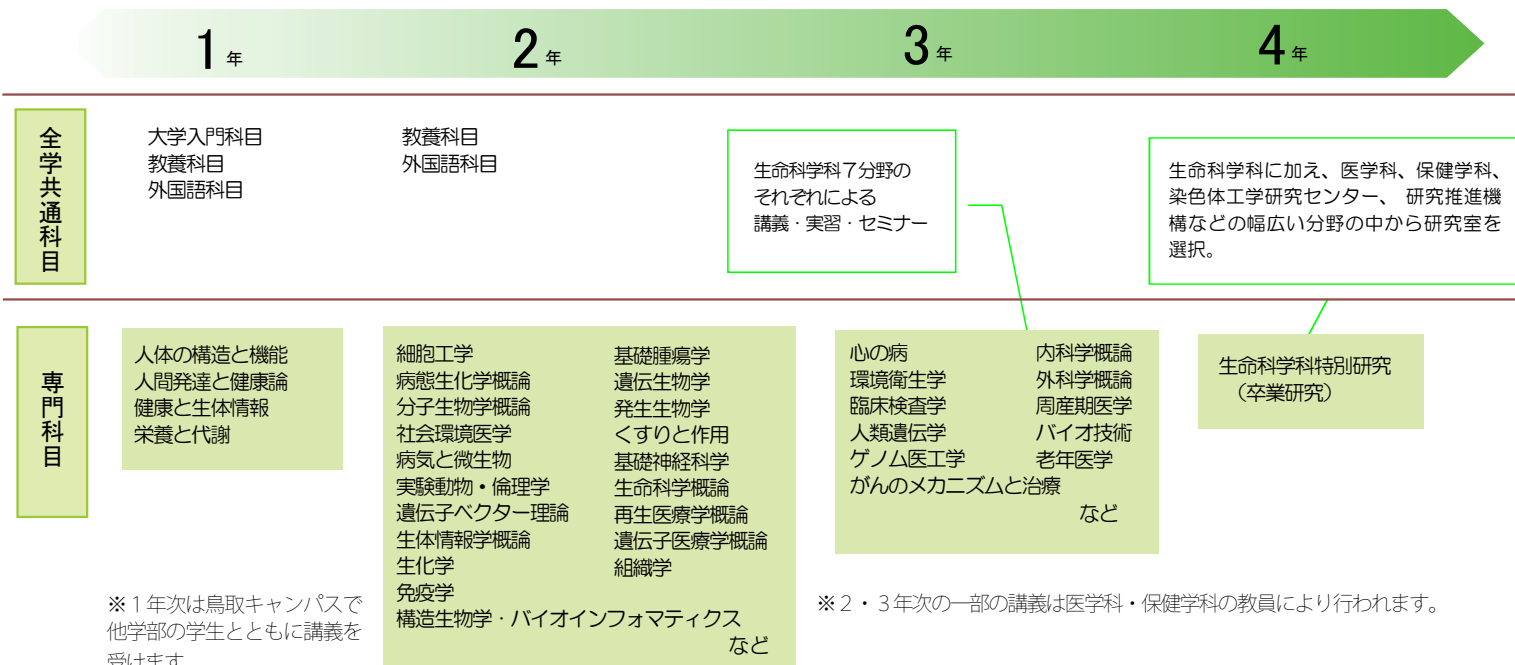


米国ニューヨーク大学 博士研究員
佐野 晃之さん (13期生)

私は、生命科学科で学部を過ごし、他大学大学院で博士課程を修了し、現在は米国ニューヨーク大学で博士研究員として研究に従事しています。入学当時は、医学研究を通して、効果的な治療を待つ難病患者さんに治療法を届けたいという希望を持っていましたが、実際に研究に触れてみると、社会貢献だけでなく生命の根幹を明らかにするという好奇心が強く刺激されました。細胞、組織の中は合理的に機能しているのに、そのメカニズムは明らかにされていないことが山ほどあります。自分の中の「なぜ?」と「誰かの役に立ちたい」という思いに背中を押され、研究に勤しんでいます。

現在は、腸内炎症疾患モデルマウスを使い、腸内細菌がどのように我々の体に影響を及ぼすかを研究しています。米国の製薬会社と共同研究し、ヒトへの応用を常に意識しています。

▶ Curriculum



卒業生・修了者の進路

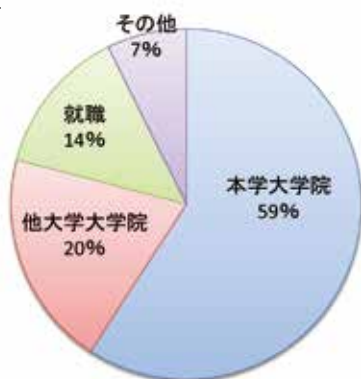
学部 大学院博士前期課程 大学院博士後期課程



生命科学科の卒業生の8割以上は、本学あるいは他大学の大学院博士課程（修士課程）に進学します。また、卒業生・大学院修了者の多くは、大学・研究機関における研究職のほか、製薬・食品企業の研究開発職や公務員・病院・出版関連企業等に就いています。今後、社会のニーズに対応して再生医療・遺伝子医療や臨床研究等のコーディネーターなど生命科学の知識が必要とされる新たな職種への進路も広がります。就職活動は、専任のスタッフがサポートしています。

学部卒業生の進路就職先

H25～29年度累計



進学

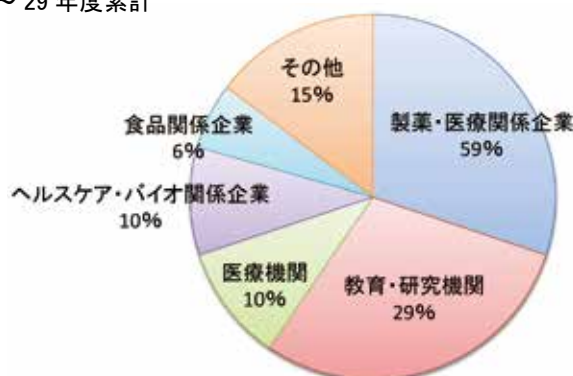
- | | |
|----------|---------------|
| 筑波大学大学院 | 鳥取大学大学院 |
| 名古屋大学大学院 | 大阪大学大学院 |
| 金沢大学大学院 | 京都大学大学院 |
| 東京大学大学院 | 九州大学大学院 |
| 長崎大学大学院 | 北海道大学大学院 |
| 信州大学大学院 | 奈良先端科学技術大学院大学 |
| 千葉大学大学院 | 東京医科歯科大学大学院 |
| 新潟大学大学院 | 東北大学大学院 |
| 広島大学大学院 | 神戸大学大学院 |
| | 他 |

就職

- | | |
|------------------|----------|
| ライフサイエンス出版 | シミック |
| みなとみらい夢クリニック | 医学生物学研究 |
| ミオ・ファティリティ・クリニック | 杏林製薬 |
| 加藤レディスクリニック | 日本食研 |
| 岡山医学検査センター | 総合メディカル |
| 医学映像教育センター | 日本血液製剤機構 |
| あかね園 | 地方公務員 |
| エシック | 他 |

大学院修了者の就職先

H25～29年度累計



就職

- | | |
|------------------------|--------------------|
| アステラスファーマテック | 日本赤十字社九州ブロック血液センター |
| グラクソ・スミスクライン | 鳥取大学大学院医学系研究科 |
| 科学技術振興機構 | 三重大学大学院医学系研究科 |
| シミック | 実験動物中央研究所 |
| アンズコーポレーション | 日本学術振興会 |
| クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン | グンゼ |
| 新日本科学 PPD | 日華化学 |
| メディクロス | 川澄化学工業 |
| 日本新薬 | 山田養蜂場 |
| 武田薬品工業 | 食品薬品安全センター |
| 久光製薬 | フジッコ |
| タカラバイオ | 万田発酵 |
| 第一三共ヘルスケア | 共和薬品工業 |
| 塩野義製薬 | カネカ |
| 林純薬工業 | 資生堂 |
| 皇漢堂製薬 | カノンキョウ |
| 沢井製薬 | エスアールエル |
| WDB エウレカ | 島根県警察本部 科学捜査研究所 |
| | 他 |

Q & A

医学科や既存の理工学部の生物系学科とどこが違うのですか？ また、他大学の生命科学科との違いはどんなところですか？

最大の特徴は、医学部の中にある生命科学科だということです。基礎的な医学の講義を受けたり、医学科、保健学科との合同講義の機会もあるなど、理・工学部などの生命科学科に比べると、医療に役立てることをより意識した生命科学の教育・研究を指向しています。医学科、保健学科の講座と連携した卒業研究・大学院研究を行うことも可能です。生命科学科に隣接する研究推進機構、染色体工学研究センター、とっとりバイオフィロントピアなどの研究環境も充実しています。これは、本学科が設立からすでに20年あまりの実績を誇り、各センターとのしっかりとした連携があるからこそ出来ることです。

さまざまな業界で活躍する900名にのぼる卒業生のネットワークを持っていることも強みです。先輩達がさまざまな形で皆さんをサポートしてくれます。一学年が少人数のため、同級生、先輩後輩や教員との距離がとても近い学科です。

保健学科

保健学科長あいさつ



保健学科長 萩野 浩

未来を夢見る学生の皆さんへ

鳥取大学医学部保健学科では周囲の人との協調力を大切に、高い倫理観と科学的な思考力や判断力を身につけ、医療・保健の分野でリーダーとなって地域と社会に貢献できる人材を育成しています。

米子市は山陰の商業都市として活気のある若者に優しい街で、学生達は伸び伸びと勉学やスポーツに励んでいます。美しい大山と穏やかな中海に囲まれたキャンパスで、あなたも私たちといっしょに、希望にあふれた将来のために大学生活を送ってみませんか？

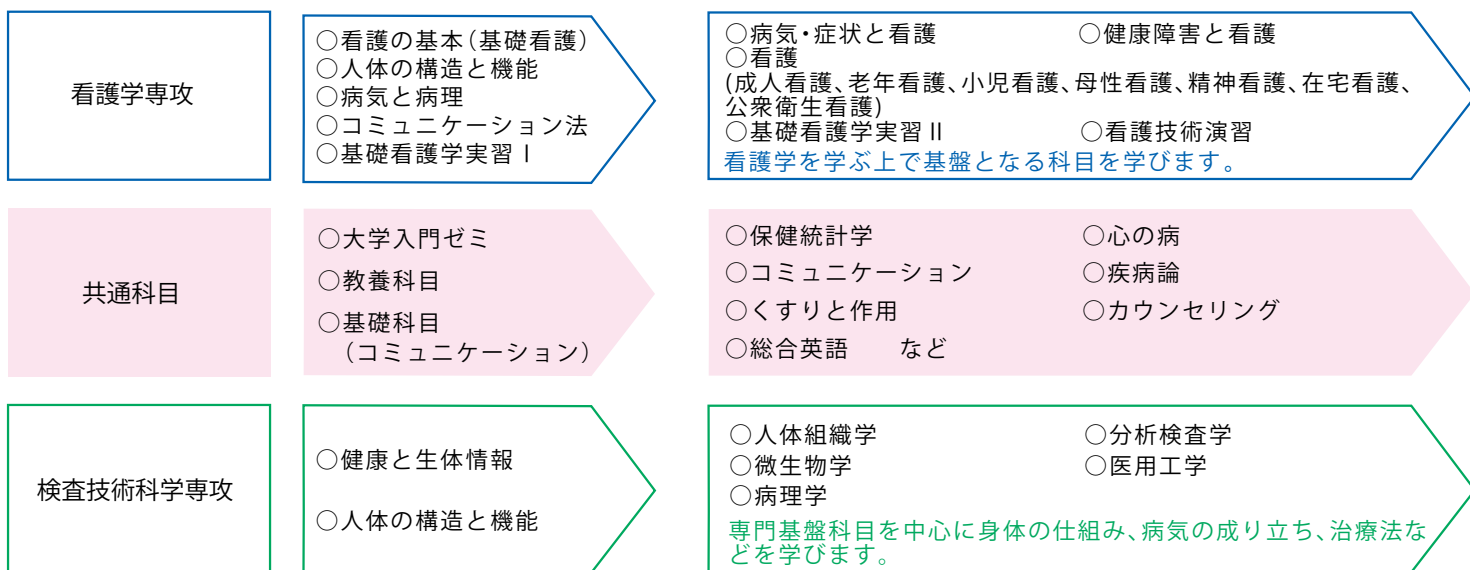
▶ Mission

地域の健康課題に対応した高いコミュニケーション能力と臨床実践力を備えた全人的医療人である専門職業人の育成

▶ Curriculum

1年

2年



※ 1年次は鳥取キャンパス(鳥取市)で他学部の学生と全学共通科目を学びます。 ※ 2年次以降は米子キャンパス(米子市)で専門支持科目、専門科目を学びます。医学部附属病院を中心として総合的な実習の体制がとられています。



1年生

検査技術科学専攻

左から兵庫県出身・島根県出身



2年生

看護学専攻

左から鳥取県出身・大阪府出身

1年次は、自由な時間が多いので勉強だけでなく、部活やサークル活動、アルバイトなど、やりたいことを思い切りできる学年です。また、他学部の学生とたくさん交流ができ、充実した1年間を過ごすことができます。

2年次では、座学だけでなく実習を通じた実践的なスキルの獲得をしています。皆が、立派な医療人を目指して切磋琢磨しながら、日々楽しく学生生活を過ごしています。

看護学専攻主任あいさつ



母性・小児家族看護学講座
教授 南前 恵子

看護学専攻では、人々が生活する様々な場で、病気の人から健康な人までの幅広い健康問題に対して支援できる看護職（看護師、保健師、助産師）を育てます。また、人を人として敬い、人の尊厳を守ることができる看護職であり、社会人であることを目指して、コミュニケーション能力の育成にも力を入れています。

広い視野を持ち、看護学の知識と実践力がそなわるような学びの場を整えています。看護を学問として学び、人として大きく成長するとともに看護職者として活躍できることを目指して共に学びましょう。

Admission Policy

【入学者の受入れ方針】

1. 健康に関わる様々な問題について、深く広い関心のある人
2. 新たな知識の探求や柔軟な発想、論理的な思考の基礎となる学力のある人
3. 相手の言葉に耳を傾け、相手の立場を思いやることができ、自らの確に表現する力のある人
4. 他者と協調し、信頼関係を築き、主体的に行動できる人
5. 自ら課題を見出し主体的、創造的に探究して自己の成長を目指す人

検査技術科学専攻主任あいさつ



病態検査学講座
教授 鯛岡 直人

検査技術科学専攻では、臨床検査技師の養成課程を通して生命倫理を尊重し科学的な視点で物事を判断できる人材を育成しています。授業・実習だけでなく学生同士の自主的活動によって、医療人としての心構えやコミュニケーション能力、協調性などを身につけることができます。また、決められた授業だけでなく、在学中の研究室配属によって研究指導を行っています。応用的な研究を行うことによって科学的素養が磨かれます。興味を持った学生は大学院に進学して研究を継続しています。観光地が多く、おいしい食に恵まれたこの米子の地で、皆さんの夢の実現に向かってともに進んで行きましょう。

Admission Policy

【入学者の受入れ方針】

1. 科学的な思考力、判断力、表現力があり、主体的に学ぶ意欲のある人
2. 医学・医療や生命医科学を学ぶための基礎的な知識・技能のある人
3. 倫理観を備え、周囲の人と協調して行動できる人
4. 地域の医療・保健に加えて、国際的にも貢献したいと考えている人

3年

4年

○看護演習
(成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、在宅看護、公衆衛生看護)

○臨地実習 (成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、在宅看護、公衆衛生看護)

○統合実習 ○課題研究
看護、健康など幅広いテーマの中から
課題研究に取り組みます

看護師国家試験
保健師国家試験
助産師国家試験
(選択)

○医療情報システム学
○医療英語

○死生学
○医療コミュニケーション

○病理組織検査 ○生理機能検査
○病原体検査 ○臨床化学検査
○血液、免疫検査
専門的な実習科目を中心に学びます。

○臨床実習 ○課題研究
臨床実習による高い実践能力を身につけます。
課題研究では多彩なテーマから選択し、取り組みます。

臨床検査技師
国家試験

学士取得・卒業

就職

進学

※ 医学科・生命学科との密接な連携のもとで教育・研究を行います。



3年生

検査技術科学専攻

左から鳥取県出身・島根県出身



4年生

看護学専攻

京都府出身

3年次では、採血や心電図検査など身体に直接行う実習が増えて、臨床検査技師になるという自覚が強くなります。1、2年生で学んだことを活かして新たな手技を習得するたびに、自信がついて毎日楽しいです。

4年次は、臨地実習や希望したゼミで課題研究に取り組み充実した毎日です。国家試験対策の学習を通し、同級生と意見を交わす事も増え、今までの知識や実習経験がより深まり、患者さんや医療に貢献する自分の看護師像を想像すると心が弾みます。

学科の教育・研究

基礎看護学分野 教授

深田 美香

未来につなげる
“看護の原理”



ナイチンゲールは1860年、著書“Notes on Nursing: what it is, and what it is not”の中に、時代が変わっても人間の生活がある限り変わらない“看護の原理”を記しました。私たちは、「生命力の消耗を最小にするように、持てる力を十分に活用できるように生活のあり方を整える」という“看護の原理”を使い、論理的に思考し確かな技術を用いて、ケアの受けてのニーズに応じた看護を実践しています。看護の核となる実践能力（日本看護協会）には、ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力があります。どのように看護学を学び、どのように看護の実践経験を積み重ねていけば、この能力を身につけられるかという問いに答えるために、日々、教育・研究に取り組んでいます。一緒に、新しい看護を創造し、看護学の知識を生み出してみませんか。



成人看護学分野 教授

中條 雅美

山陰で唯一の
がん看護専門看護師
の育成



成人・老人看護学講座で成人看護を担当しています。成人看護学では、成人期にあり病とともに生きている人の病態や療養生活についての理解を深め、それに対する看護について学びます。学部や大学院のゼミでは、手術看護、救急看護、慢性看護、がん看護における学習や研究を行っています。特に大学院においては、山陰で唯一のがん看護専門看護師の育成を担当しています。

現在行っている研究は、成人看護学の中でもがん看護や糖尿病看護に関することです。実際に病とともに生きる人にインタビューをして、その方にしかわからない体験を教えてください、どのような看護をしていったらよいかを追求しています。成人期は対象となる年齢の幅が広く、様々なライフサイクルにあり多様なライフスタイルを持っておられます。実際に病とともに生きる人にお話を伺うことで初めてわかることも多いです。



母性家族看護学・助産学分野 教授

鈴木 康江

将来を担う子ども達、
そして産み育む
母親・女性のための研究



助産学分野では、学部で助産師養成の教育のほか、女性の生涯にわたる健康、子どもの健全な成長・発達、女性と子どもをとりまく家族の健康をテーマに研究をしています。とりわけ私がしているのは、早産などで小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）の育成環境が成長や発達にどのように影響しているのかについてその背景要因の探索、育児方法の特徴等を明らかにするために、妊娠期から追跡調査をしています。

その他に地域貢献活動では思春期の青少年たちへのピアカウンセリング支援(peer in heart)、全ての女性や赤ちゃんが出産前から切れ目なく助産師によるケアを受けることができる社会を目指した助産師出向支援活動、助産師が常に最新の知識・技術を学ぶことができる教育活動などを行っています。

皆さんも、将来を担う子ども達、そして産み育む母親・女性のための研究活動、臨床助産師が地域でその力を存分に発揮できるための支援活動を一緒にしてみませんか。



Peer in heart のロゴ

公衆衛生看護学分野 教授

松浦 治代

「住民とともに
健康づくりのできる
看護職養成」



看護はあらゆる健康レベルの人を対象としています。公衆衛生看護の領域は、人々のQOLの向上を目指して、健康な人はより健康でいられるように、たとえ病気や障碍というハンディキャップがあったとしてもその人らしく暮らせるように環境を整え、支援していきます。病気があっても折り合いをつけながら生活する、運動などの自主的活動の主宰など、地域の住民さんの力は大きいです。住民さんがどのようにその力を身につけてこられたのか、またどのような支援があればより力を発揮できるのか、看護職者は何ができるのが現在の課題です。公衆衛生看護は、集団を対象とするという特徴があります。

実習やフィールドワークなど保健師や地域住民さんとかかわる中で、知識や技術を習得し、公衆衛生看護の魅力を感じてもらいたいと考えています。



住民の方々、役場のスタッフ、学生とともに地域の健康課題解決に向けて話し合う座談会

環境保健学分野 教授

浦上 克哉

認知症予防の研究と 認定認知症領域 検査技師の養成



認知症対策は世界的な課題です。増加の一途をたどる認知症への予防は急務であり科学的エビデンスの創出が我々の使命です。私の研究室では、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）を早期発見するための検査法と予防ツールの開発を行っております。特許を取得し実用化に成功したもののひとつが写真に示す「物忘れ相談プログラム」というスクリーニング機器です。3分以内で物忘れチェックができ、全国で活用されております。

認知症医療の現場における課題は人材不足です。そこで、認知症医療に対応できる臨床検査技師の育成を行っております。大学院博士前期課程に「認知症予防学特論」、「認知症予防学演習」を学ぶことのできる本邦初の「認定認知症領域検査技師コース」が平成29年から開設され、平成30年3月に3名の修了者が誕生しております。

認知症予防を学び臨床の実践と研究を行い、世の中に貢献しませんか？



物忘れ相談プログラム

生体機構学分野 教授

二宮 治明

Niemann-Pick病 C型(NPC)の研究



NPCは脂質蓄積症のひとつで、致死性の遺伝性疾患です。ふたつの原因遺伝子は確定していて、その遺伝子型と表現型については詳細な記載があります。しかし、基本的な問題の答えは謎のままです。まず、原因遺伝子がコードする蛋白質の機能はいったい何なのか。これらの欠損がどうして脂質の輸送障害を引き起こすのか。そして、なぜ神経細胞は死んで行くのか。

遺伝性疾患の治療を考えると、遺伝子治療ないし幹細胞治療しかありえないというのはロジカルには正しい。残念ながら、これを持っていつになるかわからないというのが現実であり、そもそも可能なのかどうか今私達にはわかりません。そういう状況下で、病態を理解することを目指しています。その過程で、すこしでも患児のbenefitになる情報が得られれば、と思います。画像は、患者さんの皮膚から得た線維芽細胞を、フィリピンという蛍光物質で染色した結果で、コレステロールの蓄積を表しています。



細胞・蛋白検査学分野 教授

北村 幸郷

病態を可視化する



病理検査には、生検による組織検査、細胞診による細胞検査、術中迅速検査、手術材料による病理検査などがあり、また病理解剖によって疾病の広がりや治療効果の検討がなされます（表参照）。病理検査には適切な検体処理、良好な標本作製および正確な染色技術、さらに細胞検査士の育成が必要であり、人材育成ならびにこれらの病理技術向上のための研究を行っております。古典的なHematoxylin-Eosin染色や一般的な特殊染色のみならず、免疫組織化学や電子顕微鏡による検査技術の向上はもちろんのこと、近年では分子生物学的手法を用いた分子病理学的検査技術が必要とされています。In Situ Hybridization、FISH、PCRなどは病理検査にも活用されており、

これらを用いた検査技術の向上を目指して研究を進めています。

病理検査＝人体病理（外科病理学、診断病理学）

1. 生検による組織検査（内視鏡で採取された腫瘍組織の検査など）
2. 術中迅速検査（手術断端に腫瘍がないことの確認など）
3. 手術材料による病理検査（病変の広がり、病期の検索など）
4. 細胞診（悪性細胞の有無など）＝細胞検査士の育成が必要
5. 病理解剖（病変の広がり、治療効果の検索など）

Hematoxylin-Eosin 染色、組織化学、免疫組織化学、電子顕微鏡などに加えて分子生物学的手法（In Situ Hybridization、FISH、PCR など）を用います。

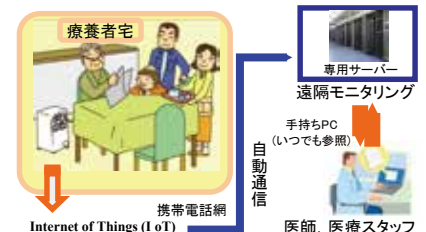
病因・治療管理学分野 教授

鱈岡 直人

アイデアを カタチにする



病気の診断や患者さんの治療に多くの医療機器が使用されています。実際使用していると検査学的に新しい機能や臨床的な工夫を追加したら患者さんにメリットが大きいであろうと予想されるアイデアが思い浮かびます。このような、思いつきを具体化する医工学分野の研究を行っています。例えば、自宅で長期間酸素吸入をしている患者さんの利便性を高めるため、酸素供給装置にインターネット回線を接続して重要な治療情報を医師、医療スタッフがいつでも確認できるシステムを企業と開発して実用化しました。これはInternet of Things (IoT) を応用した新しい医療機器です。医学的知識に加えて情報工学、物理学、数学を応用して医療機器を開発・実用化するためには、企業との共同研究が欠かせません。基礎研究とは違う実践的研究を通して得られた成果が臨床医学に還元されるように日々取り組んでいます。



看護学専攻

▶ Diploma Policy

【卒業認定・学位授与の方針】



看護職者の役割と責務を理解し、豊かなコミュニケーション能力を身につけ、倫理的に行動する能力



看護の基礎となる人間と健康生活を理解し、人間、健康、環境、看護に関する専門的知識と技術の修得、さらに、あらゆる対象の健康生活のために科学的根拠に基づいて実践する能力



対象者の利益のために保健・医療・福祉をはじめ種々の関係者と連携・協働し、調整する能力



看護学の発展のために、看護実践の中から課題を自律的に探求し、論理的・創造的に解決し続ける能力

▶ Curriculum Policy

【教育課程編成・実施の方針】

1. 鳥取大学のグランドデザインの柱である現代的教養と人間力を身につけるために文化・社会・自然に関する幅広い科目を編成します。
2. 全人的医療人の基盤として、こころ・身体・社会の構造と機能について学習し、さらに、看護学の視点から生活者の健康について学習できるカリキュラムを展開します。
3. 看護の対象、看護実践の場、健康にかかわる課題、実践の方法についての学習を充実します。看護実践を通して、看護の本質を追究する姿勢を身につける教育を重視します。
4. 生涯にわたり専門性を高めていく姿勢を持ち、主体的に看護を追究するために人間力を高め、理論的追求および実践的追求の方法を学習できるカリキュラムを展開します。

▶ 看護学専攻の教育の特色

模擬患者さん参加型演習

医療現場で必要とされる知識・技能・態度をできるだけ現実に近い状況の中で訓練するために市民ボランティアによる模擬患者参加型の演習を取り入れています。



* 学生の声 *

良い緊張感の中で、その場の患者さんの状況、状態に合わせた関わりを学べます！

附属病院での臨地実習

鳥取大学医学部附属病院の実習では、患者さんの思いに寄り添った、その人らしさを支える看護の実践を学びます。



* 学生の声 *

実習指導者さんや教員の丁寧な助言を受けられるので、実習がとても充実しています！

地域の方と関わる看護活動

地域で暮らす人を支える看護活動として、生活習慣など各地域の健康課題をテーマに健康教育等を実施し、予防的な視点も学びます。



* 学生の声 *

より健康的な生活習慣をご提案するためには、住民さんおひとりおひとりの日頃の生活を知ることが重要です！

◆取得可能資格／看護師、保健師、助産師（選択）、養護教諭二種

助産師資格については、受講生が10名程度と制限されており、希望者が多数の場合は学内で受講者を選考します。
養護教諭二種免許は保健師資格取得後に申請可能です。

在校生の声 — 看護学専攻での学び —

1年時の湖山キャンパスでは、基本的理論など学問としての看護に初めて触れ、看護の素晴らしさを改めて感じ、興味や関心がより強まりました。湖山キャンパスでできた他学部の仲間は今でも私の大切な存在です。2年から米子キャンパスに移り、専門科目が増え、私が目指している保健師の学習も始まり、自分の夢を叶えたいという想いがさらに強まりました。今は勉強や進路について親身に相談にのって下さる先生方、一緒に勉強や部活に励むことのできる友達のおかげで毎日充実した日々を送っています！



看護学専攻 3年生
城市 祐理さん（鳥取県出身）



看護学専攻 4年生
横田 絵梨香さん（京都府出身）

1年生から専門科目の講義があり、学年が上がるごとに勉強量は増えていきましたが、その分学びはいつも大きかったように思います。3年生後期の臨地実習は、専門的な知識や技術の習得のため、日々の学習がとても大切でした。実習では患者さんから学ばせていただくことも多く、その度に自己の成長を感じることができました。将来患者さんを支えられる看護師を目指し、日々頑張っています。

卒業生の声

私は外科病棟に所属しており、外科病棟では周手術期の看護はもちろんですが、化学療法や放射線治療など多岐の治療に携わることができます。近年は退院支援にも力を入れています。入院前の生活状況の把握やサービス調整などを行い退院の準備を整えることで、入院中の看護だけではなく患者さんが安心して退院でき、その人らしい生活を送れるようにすることが大切だと考えています。簡単な仕事ではないですが、笑顔で退院される患者さん、ご家族さんを見ると喜びも大きく、頑張る活力にもなっています。また、今年は看護部でも働き方改革を進めていく予定であり、働きやすい職場にすることで、プライベートも充実させていきたいと思っています。



看護学専攻 10期生
加波 愛子さん
鳥取大学医学部附属病院 勤務

卒業後の進路

— 主な就職先・進学先：平成 27～29 年度 —

高い就職率！！

平成 27 年～ 29 年度就職率：100%

鳥取県をはじめ全国各地に就職しています！

進学

岡山大学養護教諭特別別科
鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻
島根県立大学別科助産学専攻
鳥取県立倉吉総合看護専門学校助産学科

鳥取県立中央病院
鳥取市（保健師）
鳥取市立病院
鳥取生協病院
鳥取赤十字病院
鳥取大学医学部附属病院
山陰労災病院

米子病院
博愛病院
鳥取市
大山町保健福祉センター
松江赤十字病院
島根大学医学部附属病院
島根県立中央病院

岡山大学病院
倉敷中央病院
岡山市立市民病院
岡山市（保健師）
マツダ病院

広島大学病院
広島西医療センター
福山医療センター
広島市立病院機構
山口大学医学部附属病院

九州医療センター
諫早総合病院
長崎医療センター

三豊総合病院
愛媛大学医学部附属病院

宮津市（保健師）
京都大学医学部附属病院
京都第一赤十字病院
京都武田病院
市立福知山市民病院
和歌山県立医科大学附属病院
北野病院
寺元記念病院
宗教法人在日本南ブレスピテリアン
ミッション淀川キリスト教病院

がん研有明病院
東京女子医科大学病院
都立駒込病院
東京労災病院
横浜労災病院

東京医療センター
順天堂大学医学部附属順天堂医院
日本赤十字社医療センター
国立成育医療研究センター

大阪大学医学部附属病院
大阪母子医療センター
愛染橋病院
大阪医科大学附属病院
大阪医療センター
大阪府立病院機構
近畿中央病院
笹生病院
神戸市民病院機構
神戸大学医学部附属病院

姫路医療センター
神戸市立西神戸医療センター
赤穂市民病院
姫路赤十字病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫県立柏原病院
兵庫医科大学 ささやま医療センター
八尾市（保健師）

検査技術科学専攻

▶ Diploma Policy

【卒業認定・学位授与の方針】

1. 幅広い視野から人間を理解し、倫理的に行動する態度と姿勢
2. 臨床検査学の高い専門的知識と技術
3. 医療人としてのコミュニケーション能力、思考力、判断力、協調性
4. 地域のみならず国際的な医学・医療の発展に貢献できる科学的探究能力

▶ Curriculum Policy

【教育課程編成・実施の方針】

1. 幅広い知識と確かな実践力をもった人材を育成するために、バランスのとれた教養教育と専門教育を行います。また、自律的な生涯学習力を養成します。
2. 臨床検査技師に必要な科目を中心にして、専門科目を体系的に学べるよう教育課程を編成します。臨床検査技術の習得につながる実習科目を充実します。
3. 医療人として必要な医学の専門科目に加え、コミュニケーション能力を育成する科目を設置し、他者との違いを理解し、他者を思いやる心と倫理観を涵養します。大学病院を含む多様な医療施設で実習を行い、臨床現場での体験学習を充実させます。
4. 課題研究などの問題解決能力・創造的表現力を育成する科目を設置します。医学部他学科との合同講義を設け、最先端のバイオサイエンスや医学・医療の実際を学べる教育課程を編成します。

▶ 検査技術科学専攻の実習の様子

分析実習

血液、尿など生体試料中には、蛋白質、酵素、脂質など様々な成分が含まれています。それぞれの成分の特徴や働きを理解し、分析技術を習得します。



人体組織学実習

組織学は、人体の構造を細胞レベルで理解する学問です。人体の各臓器から作製した組織標本を顕微鏡下で観察し、正常な微細構造について学びます。



病理組織細胞学実習

検体処理、標本作製および染色技術の習得と、正しい標本観察を目的に学びます。



微生物検査実習

滅菌法・無菌操作など微生物を取り扱う際に必要な基本操作の習得と、細菌の培養や鑑別・同定法などを学びます。



電気生理実習

電気生理実習は、生体内の電気的反応を調べる検査です。脳死判定を行う脳波や神経障害について調べる検査について学びます。



在校生の声 — 検査技術科学専攻での学び —

検査技術科学専攻 3 年生
小林 陽和さん (香川県出身)



私は、自分が行った検査が、病気の発見に繋がって人の役に立つことに魅力を感じ、臨床検査技師を目指すようになりました。大学では幅広い知識や技術を学ぶことができ、学年が進むにつれて目標に近づいていることを実感し、嬉しく思います。部活動も盛んで、勉強と両立しながら、とても楽しく充実した大学生活を送っています。

私の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
1 時限		医療英語 II	死生学	病態生理情報検査学実習 I	医療データ解析学
2 時限	臨床病理学概論	病態免疫 血清検査学実習 I	病原寄生虫学演習	生命工学概論	がんのメカニズムと治療
3 時限	環境衛生学実習		放射線同位元素検査技術学・実習	病態生理情報検査学実習 I	病態血液学実習 I
4 時限					
放課後	サークル活動		アルバイト		サークル活動

卒業生の声

検査技術科学専攻 12 期生
岸田 成美さん 鳥取県立中央病院勤務

皆さんは臨床検査技師を知っていますか？臨床検査技師の仕事は、血液検査や超音波検査、顕微鏡で体の組織や細胞を調べる病理検査、採血など多岐にわたっています。そして、どの分野の仕事も病気の診断・治療に欠かせない重要な役割を担っています。

現在、私は輸血検査に携わっており、血液型の検査や安全に輸血をするための検査を行っています。輸血検査は緊急を要する場合が多く、大変なこともあります。患者さんの救命に直接関わっていることにやりがいを感じています。



卒業後の進路

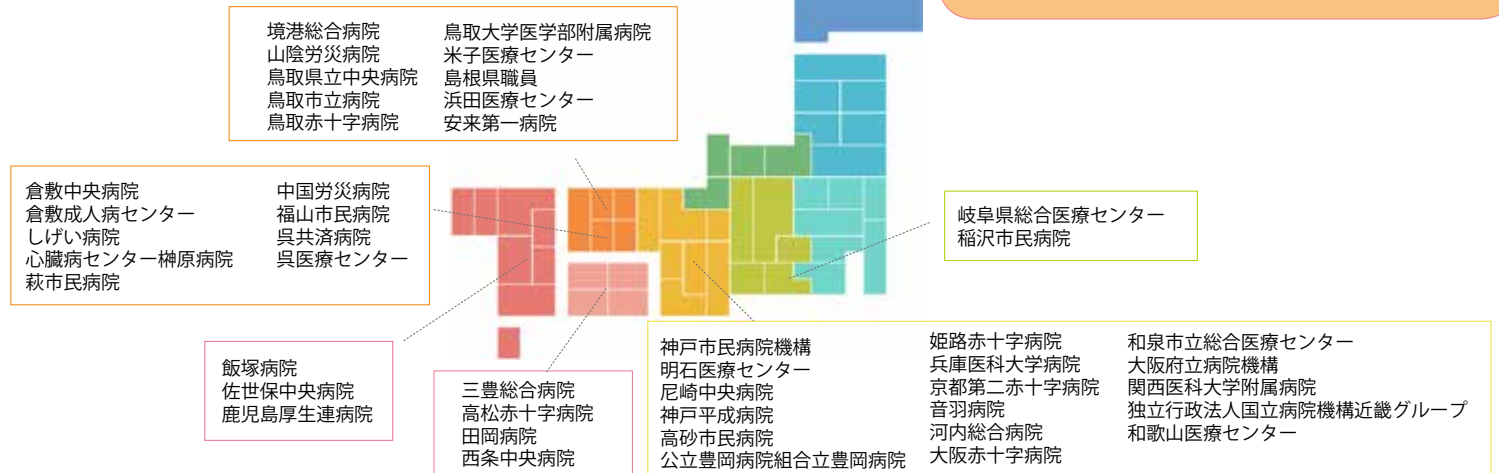
— 主な就職先・進学先：平成 28 ~ 29 年度 —

就職率 100%

卒業生の多くが出身地で就職しています！

進学 (15 名)

- 鳥取大学大学院医学系研究科医用検査学専攻 (11 名)
- 岡山大学大学院保健学研究科検査技術科学分野 (1 名)
- 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 (3 名)



キャンパスカレンダー

4月

- ◆前期授業開始
- ◆全学合同入学式（鳥取）
- ◆ふれあい朝食会（1年生）
- ◆大学入門ゼミ（1年生）
- ◆教員との懇談会（保健学科2年生）



◆大学入門ゼミ
共に学ぶ仲間との交流
大学生生活の心得を学びます。



◆オープンキャンパス
エコ体験の様子
皆さんも体験してみませんか？

5月

- ◆慰霊祭（医学科）
- ◆医学部1年次スポーツ大会



◆教員との懇談会（保健学科）
2年生に進級おめでとう！
生命科学科と保健学科は2年生
から米子キャンパスでの生活が
スタートします。



◆オープンキャンパス
学内演習の体験、附属病院の見学も
あります。
ぜひ、ご参加ください！！

6月

◆鳥取大学開学記念日
（6月1日）

7月

◆前期定期試験

10月

- ◆後期授業開始
- ◆学園祭
- ◆オープンキャンパス

11月



◆学園祭
合同コンサートや医学展示など日
頃の勉強の成果を一般公開し、地
域住民とのつながりを深めます。

8月

- ◆オープンキャンパス
- ◆夏季休業

12月

◆冬季休業

9月

◆動物慰霊祭

1月

◆後期定期試験

2月

- ◆国家試験壮行会（医学科・保健学科）
- ◆国家試験（医学科・保健学科）
- ◆春季休業

3月

- ◆医学部卒業式・謝恩会
- ◆進級生オリエンテーション
（生命科学科・保健学科新2年生）



◆卒業式
卒業おめでとう！
それぞれの新たな道へ☆



◆壮行会（医学科・保健学科）
国家試験出発！！
頑張ってきてください！！

学生生活

課外活動

勉強だけでなく、クラブ活動やサークル、バイトなど、うまく両立しながら楽しい日々を送っています。様々な出会いや経験は自分の成長を高め、一生の思い出になります。

体育系

合気道部・駅伝部・空手道部・弓道部・剣道部・硬式庭球部・ゴルフ部
サイクリング部・サーフィン部・サッカー部・柔道部・準硬式野球部
ソフトテニス部（男女）・バスケットボール部（男女）・バレーボール部（男女）
水泳部・競技スキー部・漕艇部・卓球部・ダンス部・バトミントン部・V-TEC Jr.
フットサル部（男女）・ラグビー部・陸上競技部
武産合気道同好会・PORKS（軟式野球）・MONSTER BASH Jr.・レジャーサークル

文化系

アトリエ自由ノート（美術部）・カクテル部・華道部
筋ジストロフィーボランティア部・ギターマンドリン部・軽音学部
茶道部・室内管弦楽団・写真部・JAZZ研究会・しゅわっち（手話サークル）
スプラウト（混声合唱団）・大山家族・地域医療研究部
国際保健友の会ハクナマタタ・パッチアダムスクラブ
Peer in Heart・学生 ACLS・サブカルチャー研究会・将棋部
TC-SARCH、鳥取大学ぬいぐるみ病院、ルービックキューブ研究会

学生生活サポート

保健管理センター・学生相談ルーム

身体に異常を感じたり、慢性疾患のある人、ケガをした人、「勉強に身が入らない」「大学生活になじめない」など、こころの悩みを持っている人も気軽に相談できます。



医学図書館

OPEN/8:40 CLOSE/23:00
(授業期間、試験期間の平日)

【1F ブラウジングコーナー】
雑誌、新聞、コミックがあります。
【2F 閲覧室・コンピュータールーム】
試験シーズンは満席になるほど多くの学生が使用しています。
【3F グループ学習室】
グループで利用できる小部屋を借し出しています。



大学生協 食堂・売店

食堂
OPEN/8:15 CLOSE/19:30
売店
OPEN/8:20 CLOSE/18:00

食堂は、平成27年にリニューアルオープン！学生の健康的な食生活を応援しています！安全な食材を利用しやすい価格で、栄養のバランスのとれたメニューを提供しています。売店には文具や書籍、生活用品、お弁当などが揃っています。



附属病院

鳥取大学医学部附属病院は、40 診療科、約 1,850 人のスタッフと 697 床を有しており、特定機能病院として高度先進医療を安心安全に提供すること、および医療人の育成を行っています。一人一人の能力が発揮できる組織づくりを通じ、地域医療への貢献を目指しています。

とりだい病院の特徴

基本理念

健康の喜びの共有

私たちは医療の実践、医学の教育・研究を推進し、地域の人々と健康の喜びを共有します。



1

最先端の低侵襲治療

2

ロボット支援手術

内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入をきっかけに、診療科の垣根をなくした「低侵襲外科センター」を開設し、センターを通じた各職種のスームズな連携で安心安全な最新医療を提供しています。

・累計症例数ランキング
国立大学で第3位(週間ダイヤモンド調べ)



内視鏡を用いた治療

- ・消化器がんに対するレーザー内視鏡診療
- ・内視鏡的粘膜下層剥離術
- ・高い診療実績を誇る胆膵内視鏡診療

身体への負担が少ない心臓手術

- ・山陰初TAVI手術を施行(平成27年5月)



組織横断的なチーム医療の実践

3

TEAM 結節性硬化症 診療チーム	TEAM 緩和ケア チーム	TEAM 栄養サポート チーム (NSP)	TEAM 糖尿病医療 支援チーム	TEAM 抗菌薬適正使用 支援チーム
TEAM ハート チーム	TEAM 呼吸サポート チーム (RST)	TEAM 結節性硬化症 診療チーム	TEAM 精神科 リエゾンチーム	TEAM 肝臓サポート 支援チーム
TEAM 褥瘡対策 チーム	TEAM 生殖医療 チーム	TEAM 転倒・転落 予防チーム	TEAM 感染対策 チーム	TEAM 排尿ケア チーム

当院では、一人一人の患者さんに沿った適切な治療を効率的に行うために、診療科や部門の枠組みを超えたチーム医療に取り組んでいます。

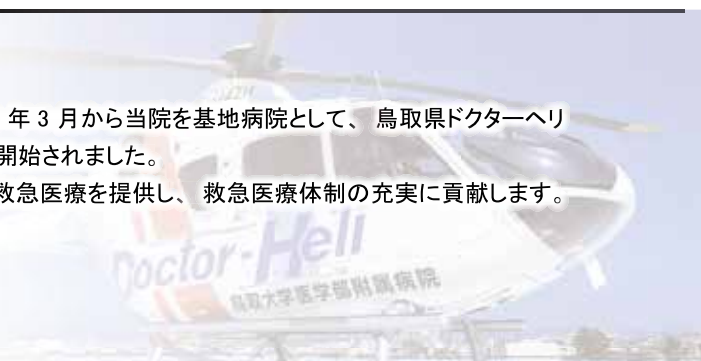


地域医療の「最後の砦」を担う

4



平成30年3月から当院を基地病院として、鳥取県ドクターヘリ事業が開始されました。迅速な救急医療を提供し、救急医療体制の充実に貢献します。



入試情報

2019年度（平成31年度）募集人員

学科・専攻	入学定員	前期日程	後期日程	特別入試		私費外国人
				推薦入試Ⅱ	社会人入試	
医 学 科	105人	65人	20人	20人	—	若干人
生 命 科 学 科	40人	30人	5人	5人	—	若干人
保 健 学 科 看 護 学 専 攻	80人	45人	5人	30人	若干人	若干人
保 健 学 科 検 査 技 術 科 学 専 攻	40人	20人	10人	10人	若干人	若干人

2019年度（平成31年度）試験内容

学科・専攻	学力検査の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の概要	
		教科	科目名		
医学科	前期日程	国語 地歴・公民 数学 理科 外国語	国語（必須） 世B、日B、地理B、倫・政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B） 理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物から2） 英語 面接	
	後期日程		5教科7科目	面接	
	推薦入試Ⅱ		前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	面接	
生命科学科	前期日程	国語 地歴・公民 数学 理科 外国語	国語（必須） 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・ 政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B） 理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物から2） 英語	
	後期日程		5教科7科目	面接	
	推薦入試Ⅱ		前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	面接	
保健学科	看護学専攻	国語 地歴・公民 数学 理科 外国語	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、 倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情 報から1 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2又は 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1	英語	
			後期日程	5教科6科目	小論文 面接
			推薦入試Ⅱ	前期日程・後期日程に同じ （5教科6科目）	小論文 面接
	検査技術科学専攻	国語 地歴・公民 数学 理科 外国語	国語（必須） 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・ 政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B） 英語 から1教科選択	
			後期日程	5教科7科目	小論文 面接
			推薦入試Ⅱ	前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	小論文 面接

アクセス

- 東京から
飛行機で1時間20分
JR東海道・山陽新幹線 - 伯備線経由で
5時間30分
- 大阪から
JR山陽新幹線 - 伯備線経由で3時間
高速バスで3時間20分
- 米子駅から
徒歩で約15分
タクシーで約3分
米子市循環バス利用で約8分
※米子駅から大学前まではバス利用で約4分
- 米子鬼太郎空港から
タクシーで約20分
※空港連絡バスをご利用の場合は、市役所前で下車後、
徒歩で約10分



ホームページをご覧ください！



◀ 鳥取大学医学部HP

<http://www.med.tottori-u.ac.jp/>



鳥取大学医学部附属病院HP ▶

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/>

鳥取大学医学部学務課
〒683-8503 鳥取県米子市西町86
TEL: 0859-38-7096 (教育企画係)

鳥大 医学部

検索